

福武総一郎 2026 年度国際交流基金賞受賞

—現代アートを通じた国際文化交流への貢献—

この度、公益財団法人 福武財団（理事長：福武英明 香川県・直島）の名誉理事長である福武総一郎は、2026 年度「国際交流基金賞」を受賞しました。

本受賞は、30 年以上にわたる、ベネッセアートサイト直島を中心としたアートプロジェクトや 2010 年からスタートした瀬戸内国際芸術祭の取り組み、1995 年から創設したベネッセ賞などを通して、現代アートを中心とした地域交流の機会の提供や、国際文化交流の推進と国際的相互理解の増進に貢献したものと評価をいただきました。

日頃よりご支援いただいている地域の皆様ならびに関係者の皆様に、心より御礼申し上げます。

福武総一郎への本受賞に関するお問い合わせは、福武財団の広報までご連絡ください。

本賞に関するお問い合わせは、下記記載の国際交流基金 広報窓口へお問い合わせいただきますようお願い申し上げます。

国際交流基金賞について

賞の名称:国際交流基金賞

主催団体: 独立行政法人 国際交流基金（JF）

JF は「日本の友人をふやし、世界との絆をはぐくむ。」をミッションに、「文化芸術交流」「日本語教育」「日本研究・国際対話」を通じて、世界各地との人的交流を促進し、相互理解と信頼関係の構築を通じて、より豊かな国際社会の実現を目指す独立行政法人。

受賞発表日:2026 年 8 月 28 日（金）

授賞式典：2026 年 10 月 21 日

受賞の背景

—国際交流基金 8 月 28 日発信プレスリリースより引用

福武総一郎氏は 30 年以上にわたり、瀬戸内海の離島で数多くの美術館の開設やアートプロジェクトなどを展開し、「瀬戸内国際芸術祭 2010」ではそれらを 7 つの離島と高松港エリアへと拡張させ、2025 年まで 6 回の同芸術祭を総合プロデューサーとして成功に導いてきた。その拠点となった直島は世界に類のない「アートの島」として国際的な注目を集め、急速な過疎と高齢化の進む地域をアートから活性化させたプロジェクトは、海外からも高く評価されている。ベネッセ賞や福武財団などの取り組みを含め、現代美術を中心とした国内外の数多くのアーティストに作品の創造と地域交流の機会を提供し、国際文化交流の推進と国際相互理解の増進に多大な貢献を果たしている。

国際交流基金からのプレスリリース全文はこちら：

和文：<https://www.jpf.go.jp/j/about/press/2026/>

英文：<https://www.jpf.go.jp/e/about/press/2026/>

■国際交流基金 広報窓口（ブランド推進部 広報課）

メール：press@jpf.go.jp 電話：03-5369-6075

営業時間：9:30～18:00

【本リリースに関するプレス問い合わせ先】取材・掲載の際には、下記までご連絡ください。

公益財団法人 福武財団 経営企画部 広報・プロモーションセクション

メール：press@fukutake-artmuseum.jp 電話：087-892-2550（平日：8:45～17:30）

福武総一郎コメント



このたびは、歴史ある国際交流基金賞という栄誉ある賞をいただき、大変光栄に思います。私は、1986 年から 40 年にわたり、建築家の安藤忠雄さんをはじめ多くのアーティストの皆様とともに、香川県の直島・豊島、岡山県の犬島を中心に、現代アートによる地域振興活動「ベネッセアートサイト直島」に取り組んでまいりました。

父・哲彦の急逝を受けてこのプロジェクトを引き継ぎ、過疎化や近代化のひずみに苦しんできた瀬戸内の島々に強い問題意識を抱きました。瀬戸内が本来持つ美しい景観や豊かな地域文化、島の皆様の本当の幸せを取り戻したいという思いから、地域の方々と協力しながらこの活動が続け、世界的にも稀有な素晴らしいアートサイトが出来ました。1992 年のベネッセハウス ミュージアム開館以降、「ベネッセアートサイト直島」の活動を継続し、1995 年にベネッセ賞の創設、2010 年からは瀬戸内国際芸術祭を開催し、これらを通じて世界各地との交流を重ねてまいりました。いずれも、現代アート

は国境や言語の壁を越える力を持っていることを信じ、取り組んできたものです。

この受賞を励みに、文化芸術を通じた国際交流の懸け橋であり続けたいと思います。支えてくださった安藤忠雄さんをはじめ関係者の皆様、そして国際交流基金の皆様に、心より御礼申し上げます。

福武総一郎 略歴

公益財団法人福武財団 名誉理事長、ベネッセグループ名誉顧問、瀬戸内国際芸術祭 名誉顧問、
越後妻有アートトリエンナーレ大地の芸術祭 名誉顧問

1945 年生まれ。岡山県生まれ。早稲田大学理工学部卒業。1973 年株式会社福武書店（現・株式会社ベネッセコーポレーション）入社。1986 年同社代表取締役社長就任。2007 年～2014 年 代表取締役会長兼 CEO。2014 年より最高顧問、2016 年 10 月より現職。

1980 年代より、香川県・直島、豊島、岡山県・犬島を自然とアートで活性化するプロジェクト（ベネッセアートサイト直島）を 40 年以上にわたって指揮。2004 年直島に地中美術館を設立。2010 年より香川県とともに瀬戸内国際芸術祭を立ち上げ、総合プロデューサーとして牽引。（2026 年 3 月に総合プロデューサー退任）2008 年 文部科学大臣表彰（芸術選奨）、2012 年 モンブラン国際文化賞、2013 年 文部科学大臣表彰（地域文化功労者表彰）等受賞。

【本リリースに関するプレス問い合わせ先】 取材・掲載の際には、下記までご連絡ください。

公益財団法人 福武財団 経営企画部 広報・プロモーションセクション

メール：press@fukutake-artmuseum.jp 電話：087-892-2550（平日：8:45～17:30）

■ベネッセアートサイト直島とは

「ベネッセアートサイト直島」は、直島・豊島（香川県）、犬島（岡山県）を舞台に株式会社ベネッセコーポレーションと公益財団法人 福武財団が展開しているアート活動の総称です。

瀬戸内海の風景の中、ひとつの場所に、時間をかけてアートをつくりあげていくこと―各島の自然や、地域固有の文化の中に、現代アートや建築を置くことによって、どこにもない特別な場所を生み出していくことが「ベネッセアートサイト直島」の基本方針です。

各島でのアート作品との出会い、日本の原風景ともいえる瀬戸内の風景や地域の人々と触れ合いを通して、訪れてくださる方がベネッセグループの企業哲学である「ベネッセーよく生きる」とは何かについて考えてくださることを目指しています。

そして、活動を継続することによって地域の環境・文化・経済すべての面において社会貢献できるよう、現代アートとそれを包括する場である地域がともに成長し続ける関係を築いていきたいと考えています。

■ベネッセアートサイト直島の歴史について

参照 URL : <https://benesse-artsite.jp/about/history.html>

【本リリースに関するプレス問い合わせ先】 取材・掲載の際には、下記までご連絡ください。

公益財団法人 福武財団 経営企画部 広報・プロモーションセッション

メール : press@fukutake-artmuseum.jp 電話 : 087-892-2550 (平日 : 8:45~17:30)